

すくわくプログラム報告書

施設名	田中ナースリー大和保育園
クラス	0歳児
日付け	2025・9・17

1 活動のテーマ

<テーマ>

水・色・光

2 <テーマの設定理由>

普段手洗いで水をバシャバシャと笑いながら触れている姿から、水に触れる遊びを体験したり、透明容器から見える水の色や色水を使った色の変化を楽しんでもらおうと思い為設定した。

3 環境の設定

<活動のために準備した素材や道具>

透明容器
絵の具、筆
紙エプロン

4 活動の実践内容

保育者が水を張った容器を用意し声を掛けると、初めて目にしたのもでもあり、始めは近づくことを怖れていた。一人の子が興味をもち、水を勢いよく触ると、顔に水がかかり笑って喜ぶ。その姿を見て安心したのか周りの子も集まってきた。



エプロンがたくさんぬれても構わずに、容器の水を何度もたたく。

透明の色だけでなく、保育者が色のついた容器を用意すると、色が変わったことに気づき「きれい！」と声をあげたり拍手をする。

色を知っている子は「あか、あお」など指差しをしていた。気に入った色を触る子もいれば、目の前の容器のみ触れる子など様々だった。

次に色を混ぜ何色に変化するかを子どもたちと見る。子どもたちはじっと見つめ、保育者が「〇色になったね」など声を掛け色の変化を共感した。変化した容器の水にすぐ触っていた。

5 振り返り

始め水に対する恐怖心は想定外だったが、楽しめる言葉掛けや保育者が実際水に触れ安心を得ることで関心をもつことができ良かった。

慣れてくると始めの恐怖心を忘れるくらい何度も容器をたたき水の飛びはねを楽しんでいた。終了の合図を示しても、もっとやりたい姿が見られ十分に楽しめたと思う。

『水をたたくと、とびはねる』ことや、色水を使うことで、『混ざった時の色』や『色に種類があること』を知ることができたと思う。また透明の容器という事もあり、離れて座っている子でも、色が見えて変化を楽しめたと思う。

今後も日常の中で子どもたちが発見を楽しんでいることに着目し、遊びに繋がられるようにしていきたいと思う。